

議会だより

第193号

令和7年
8月発行

題字：仲宗根 琉輝さん
嘉手納中学校2年



～主な内容～

令和7年度 一般会計補正予算（第1号）1億5363万円を可決!・・・P2

Q&A こんな質問がありました・・・・・・・・・・P2

施設配置報告・・・・・・・・・・P3

町政を問う！ 15人の議員が一般質問・・・・・・・・P4～P19

題字紹介、職人・人物紹介・・・・・・・・・・P20

まちの職人・人物紹介 Vol.18

大西和也さん(左)、濱元隆さん

嘉手納町議会ホームページ

嘉手納町議会

検索



町議会を傍聴しましょう！定例会は、3・6・9・12月に開かれます。

令和7年度

一般会計補正予算(第1号) 1億5363万円を可決!

令和7年6月定例会が、6月10日から16日まで5日間の日程で開会され、
令和7年度補正予算を含む議案4件、報告1件、発議1件を可決した。
一般会計補正予算も審議され、可決後の予算総額は157億5638万円となった。

補正予算の主な事業 (1万円以下は切り捨て)

◆ 定額減税補足給付金 (不足額給付) : 4,832万円

昨年度実施した「定額減税調整給付金」事業について、令和6年度分の所得額で再計算し、不足が生じていれば追加給付を行う(1,000件の給付を想定)。

◆ 町女性デジタル人材育成事業委託料 : 500万円

就業中・休職している女性を対象に、デジタル人材の育成(キャリアアップ)を目的とした講座を実施(国から207万円給付あり)。

◆ 屋良東部地区公園整備工事 基本設計委託料 : 3,186万円

屋良第二公園(通称「パンダ公園」)を移設するための基本設計委託料。

◆ シルバー支援センター移転先改修工事設計委託料 : 390万円

たいよう学童及び子育て支援センター拡充のため、隣接するシルバー支援センターをロータリー2号館へ移設するにあたり、移設先の改修にかかる設計委託料。

Q & A

こんな質問がありました

Q 何故、屋良東部地区公園整備という大きな事業の基本設計委託料を3月定例会の当初予算に計上しなかったのか。

A 今年2月26日に住民説明会を開催した。その説明会開催前に当初予算として計上することはそぐわないと考え、当初予算ではなく補正予算に計上した。

A 議会に説明する前に住民説明会を開催した手法は大変反省している。今後、大きなプロジェクトは先ず議会の承認を得てから進めていきたい。

Q 公営住宅使用料返還金として116万円計上の理由、利息も加算して返還するのか。

A 70歳以上の入居者本人に使用料算定上の所得控除が適応されていなかったため、過大に徴収した使用料を取り急ぎ10年遡及して返還する。3世帯が対象。還付加算金として算定し、返還予定である。

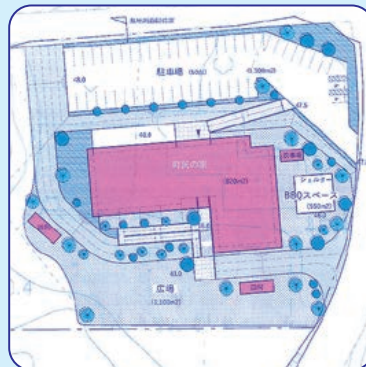


施設配置報告

担当課から嘉手納町議会へ報告と説明がありました！

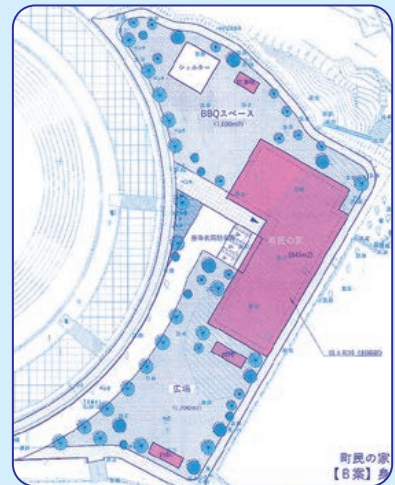
町民の家リニューアル事業

町民の家は建設から42年が経過し、著しく老朽化が進んでおり建替等について検討が行われております。スポーツ・レクリエーションの振興や、スポーツツーリズムの観点から、町は現在地建替えの他、スポーツドーム裏の広場用地に移転する可能性を検討しています。



A案(現在地建替え) ↑

B案(スポーツドーム裏の広場) →



嘉手納野球場周辺等整備事業

嘉手納野球場のサブグラウンド及びトレーニング室を、プロ野球の内野練習や学生野球等での使用において、利用者のニーズに対応出来るよう、町は施設機能の向上及び充実と併せて包括的なスポーツ施設の整備を検討しています。



沖縄防衛局へ要請 (6月4日)



沖縄防衛局へ要請
(7月23日)



外務省沖縄事務所へ要請 (7月23日)

6月10日の第6回定例会において、当議事で発言への謝罪と撤回を求め、全会一致で可決した。

西田昌司参議院議員による、
沖縄戦の実相と史実を歪め
否定する発言への抗議決議

7月23日の第7回臨時会において、旧海軍駐機場の使用禁止と緑地化、SACO合意の遵守を求め、全会一致で可決した。

嘉手納飛行場旧海軍駐機場
の航空機使用の即時禁止を
求める意見書・抗議決議

5月30日の第5回臨時会において、当事件の実効性のある再発防止対策と被害者へのケアの実施を求め、全会一致で可決した。

在沖米海兵隊員による性的
暴行事件に対し厳重に抗議
する意見書・決議

7月23日の第7回臨時会において、嘉手納基地での訓練の全面禁止と例外的措置の撤廃を求め、全会一致で可決した。

常態化する米軍パラシュート
降下訓練に厳重抗議する意
見書・決議

町政を問う

題字：仲村 龍也 議員

15人の議員が一般質問

(質問順)

伊 敷 猛……………P5

秋田県交流事業について

新 垣 貴 人……………P6

経済対策について

仲 村 龍 也……………P7

嘉手納町職員の地域活動等の参加について

知 花 賢 幸……………P8

米軍基地における町民の雇用促進について

安 森 盛 雄……………P9

新町通りの花ポット兼車止めを問う

奥 間 常 明……………P10

優良建築物整備事業について

福 地 義 広……………P11

米軍基地からの光害について

田 崎 博 美……………P12

公共施設内における草木の除去作業について

嵩 原 妙 子……………P13

学校教育について問う

照 屋 唯和男……………P14

独居老人及び生活困窮者の住宅事情支援を

古 謝 友 義……………P15

熱中症対策を問う

志喜屋 孝 也……………P16

さくらねこプロジェクト

當 山 均……………P17

旧海軍駐機場等の返還に向け

仲村渠 兼 栄……………P18

議員定数削減を問う

宇榮原 京 一……………P19

嘉手納野球場周辺施設整備計画について





伊敷 猛

詳しくは動画を Check →



秋田県交流事業について

問 秋田県交流学習体験事業は学力向上だけでなく、次世代のリーダー作りにも貢献していると考えるが、他の交流事業もあり転換期に来ているのではないかと考える。秋田交流は何年間続いているのか。

教育指導課主幹 平成26年度から始まり12年間になるが、コロナ禍もあり3年間は派遣無しで実質的には9年間になる。

問 目に見える成果はあるか。

教育指導課主幹 探求型学習により、①嘉手納町の事を学び嘉手納町に貢献する姿。②主体的な行動を実行する力。③チャレンジ精神の芽生え。学校のリーダーとして活躍する生徒が多数育ってきた。

問 他の交流事業もあるので終了させるべきだと思えるが。

教育長 先生方の交流は十分だと考える。子どもたちだけの交流だけでも継続できたらいいと考える。

中学校学習支援教室 設置事業について

問 中学校での学習支援事業について令和7年度も続けるのか。民間事業者の経営を圧迫する事に繋がるので反対する。

教育指導課長 前年度の状況を踏まえ、中学校からの意見・要望を伺った上で検討。

問 塾や文化・スポーツ教室等の学校外活動への補助が出来ないか。子ども達の夢実現のために検討出来ないか。

教育指導課長 本町では学校給食費の補助、学校教材の全額補助、子ども医療費助成事業や入学祝い金給付事業等を行っており、学校外活動費の補助については考えていない。保護者負担軽減は今後も検討していく。

嘉手納野球場サブグラウンド やトレーニング室整備 について

問 サブグラウンドやトレーニング室の要望があったのか。

企画財政課長 DeNAベースターズや他球団からの要望があった。

問 サブグラウンドやトレーニング室を作る場所は。

企画財政課長 サブグラウンドは野球場駐車場、トレーニング室はスポーツドームの東側に配置。

問 トレーニング室はスポーツドーム内に既にあるが、なぜ増設するのか。

企画財政課長 今の2・5倍程度の器具を予定。

問 サブグラウンドの広さは。適正の広さと思っているのか。

企画財政課長 48×46mを検討。投内連携練習用。

問 隣接する読谷村の土地を使っているのか。丘陵地での検討は。

企画財政課長 読谷村用地は考えていない。丘陵地も検討したが、駐車場用地は利便性が良い。

問 サブグラウンドへ移動の安全確保は。

企画財政課長 安全確保に十分配慮した対策を講じる。

問 嘉手納野球場でプロ野球、高校野球の公式戦が行えるのか。スポーツツーリズムとしての活用は。

企画財政課長 プロ野球練習試合等は可能、高校野球1年生大会は可能。スポーツツーリズムとして町内外から人を呼ぶ。町内の宿泊・飲食施設の利用や地元特産品の購入といった波及効果も期待される。

問 スポーツツーリズムを推進するのはどこか。

産業環境課長 全庁をあげて推進協議会を立ち上げる。

問 サブグラウンド建設は反対する。税金の無駄遣いだと思える。スポーツツーリズム、町民に対して必要ならば、キャンプ以外でも町民が使える施設を作って欲しい。建設費総額は。補助率は何%か。

企画財政課長 建設費総額7億6000万円。補助率は80%。

問 町の負担は20%、1億5000万円余りでいいか。

企画財政課長 その認識でいい。



嘉手納野球場



新垣 貴人

詳しくは動画を Check →



経済対策について

問 物価高が続く現状で、町民は厳しい生活を余儀なくされている。生活保護世帯や非課税世帯には国の制度で、緊急経済対策給付金等の措置があるが、税金を納めているボリュームゾーンと呼ばれる現役世代の平均所得未満の世帯は制度の対象にならず、物価高は日々の生活へ多大な影響を与えている状況だ。納税しているにも関わらず、国の制度の対象外となっている町民への経済対策について伺うが、所得を考慮した上で、各種税目を時限的に減税する予定は。

答 税務課長 検討はしていない。

問 所得を考慮した上で、各種使用料を時限的に減額する予定は。

答 産業環境課長 現時点では検討していない。

問 町民への物価高騰対策として、今年度中の事業計画は。

東京都、大阪府	時限的な水道基本料金無償化
岡山県 備前市	時限的な水道基本料金無償化
愛知県 一宮市	キャッシュレスポイント還元事業
大阪府 和泉市	お買物割引チケット事業（50%）

利用料減額は、自治体が行う物価高対策として非常に有効

学校教育について

問 日本の学校教育は、古代から現代まで時代とともに発展をとげてきた。その道のりは改革と挑戦であり、関係者と教職員の努力があった。現在、子ども達の多様性を重視した教育環境の

構築や、教職員の働き方改革が推進されている。本町の取組みとして、ラーケーションへの考え方と現状は。

答 教育指導課主幹 県立学校で実施される予定なので、その状況を調査研究する。

問 体験格差に対する考え方と町の方針は。

答 教育指導課主幹 大山町や大館市との交流事業や、ハワイ短期留学を実施している。今後も継続したい。

問 スクールロイヤー導入への検討状況は。

答 教育指導課主幹 県内での自治体を参考にし、本町に適した方法を検討したい。

町有地の活用について

問 過去の議会で同様の質問を何度か行った。居住面積2・7kmという狭隘な面積に1万3千人近くの町民が生活している。基地との関連もあるが、嘉手納町が抱える土地問題は特に深刻だ。その有効活用は重要な行政課題であり、町民の関心も高い。現在の日本ペイント跡地と旧中央公民館の跡地利用の検討

状況は。

答 企画財政課長 民間活力を活用した事業の実施につなげるべく、令和8年度までに基本構想を策定し、跡地利用を決定する。

問 第二保育所の跡地利用は。企画財政課長 倉庫等としての利用を検討中。

問 嘉手納高校付近の車両保管場所は、どのような状況か。都市建設課長 7台保管している。道路や公園等に放置車両があれば、そこへ移動する。



現時点で、駐車場として活用されている日本ペイント跡地



仲村 龍也

詳しくは動画を Check →



嘉手納町職員の 地域活動等の参加について

問 嘉手納町職員も嘉手納町民も積極的に率先して地域活動に参加してほしい。町内団体から行政に対してどのような支援や協力要請があったのか伺う。

総務課長 記念事業等に係る補助金の増額が4件、備品の購入に係る補助金の増額が3件、その他として、団体専用の会議室についての希望がある。

問 団体の人員不足や後継者問題等の協力要請等があったのか伺う。

総務課長 特になし。ただ、各団体において会員不足の課題が上がつているのは認識している。

問 全体の奉仕者であるためには、各地域で活動している団体等の実情や考え方を理解することとはとても重要。嘉手納町職員

が地域活動等に参加することのメリットとデメリットを伺う。

総務課長 職員の地域活動への参加は地域活性化の一助になると考える。職員の所属する自治会活動への参加はもちろん、町外在住の職員についても出身自治会の行事等への参加協力を強く推進している。

問 活力に満ちた、人に優しいまちづくりを目指す町長の見解を伺う。

町長 私の政治姿勢として公平公正、町民本位、改刷新の3つを掲げ、職員にも周知徹底を図っている。町民本位については、町民が主役だということを常に念頭に置いて町民目線で仕事をしたいと常々申し上げている。職員は町民福祉の増進を図ることが一番の仕事であり、町民の気持ちを把握し、町民目線で仕事をする姿勢に取り組んでもらいたい。いろんな活動に参加するということは、職員の資質向上、知識と経験を増やすことにも有効。1人1役でもいいので地域活動への参加を呼びかけている。

住民説明会について

問 住民説明会の概要と目的を伺う。

都市建設課長 公園整備に関する町民参画の一環として、住民の皆様への情報提供及び意見交換を目的に開催。

問 住民説明会の対象者を伺う。

都市建設課長 都市公園法に基づく公園の種別を踏まえたうえで適切に設定している。兼久海浜公園リニューアル事業は町民全体、屋良東部地区公園整備事業は当該地域の住民が対象。

問 対象者の中で住民説明会へ参加した人数を伺う。

都市建設課長 兼久海浜公園リニューアル事業は18名、屋良東部地区公園整備事業は18名。

問 住民説明会の効果と成果を伺う。

都市建設課長 兼久海浜公園リニューアル事業については、住民説明会を通じて住民の皆様から多くのご意見ご質問をいただき、みなでつくる公園という共通の認識が醸成された。丁寧に対応したことで事業に対する理解と信頼を深め、合意形成の一助となった。

問 参加者が少ない、みなでつくる公園になっていない、合意形成の一助になっていない。参加者18名のうち、議員3名、企業7名、町民は6名ほどと感じた。これで果たして効果と成果があったのか疑問である。町公式LINEでパブリックコメントを受け付けることは可能か伺う。

都市建設課長 いろんな声がかかるよう今後も努力していきたい。

問 住民説明会では議員は発言しない方がいいと考える。議員向けの説明会について当局の見解を伺う。

都市建設課長 事業計画等を議会に説明することは可能。必要の方へワークショップ等を行っている。



兼久海浜公園リニューアル事業
住民説明会(令和7年3月6日)での
イメージ図



知花 賢幸

詳しくは動画を Check →



米軍基地における町民の 雇用促進について

問 嘉手納町は、面積の82%が米軍基地に接収され、騒音被害、訓練等の基地負担を強いられている。米空軍施設で勤務する日本人従業員は3076人で、嘉手納町は92人(令和6年3月末)となっており、基地負担に対し応分な基地従業員の雇用があるとは到底言えない。

近隣市町村の国勢調査時における生産年齢人口比率の比較ではなく、嘉手納町における米空軍施設の基地負担に応じた人口比率による基地従業員の雇用の比較はどう捉えるのか、伺う。

産業環境課長 基地負担に応じた人口比率による基地従業員の雇用の比較について、嘉手納町は町域面積に対する米軍施設の面積が県内でも突出して高く、そ

れに比較すると基地従業員の数は少ないと捉えている。応募者に対し採用者の比率は近隣と比べても低い割合ではない。応募登録を促すための手段として今後考えていきたい。

問 嘉手納町として米空軍施設への町民の雇用に関する取り組み促進について見解を伺う。

町長 嘉手納町民の申込者数に対する採用者数としては少なくはなく、ほかの市町村より従業員が少なくということはある。米空軍施設で勤務する日本人の従業員ということで、嘉手納飛行場での数が少ないということをもつて、嘉手納町の基地従業員が少ないということにはならない。必ずしも、嘉手納町民の従業員数が少ないということではないということでは、応募者数に対する採用者数の割合、それを踏まえた上で判断をする必要がある。また、基地従業員への応募者数を増やしていく取組が基地従業員を増やしていくということにつながる。そして、応募者数を増やしていく方法として、どのような方法が取れるのかということはいくつと検討しながら対応していく必

要があるのではないかと考えている。



かでなエイサーまつりの様子 (令和6年8月19日)

嘉手納町における 文化の継承・発展に関する 取り組みについて

問 嘉手納町における屋外イベント等の開催について、屋外の体育施設や公園施設を会場に、町内の各自治会の青年会、エイサー保存会によるエイサー団体と町外のエイサー団体を招待して構成する「嘉手納エイサーフェスティバル(仮称)」の開催

を、町と民間で実行委員会を設置し企画検討することが可能かどうか伺う。

中央公民館長 文化の継承・発展の目的で「嘉手納エイサーフェスティバル(仮称)」は現在、嘉手納町で行われているエイサーまつりと同じようなイベントになることなどを考えると、新たな開催は非常に難しい。例年実施されているエイサーまつりの実行委員会に町も入っている中で、実施されているエイサーまつりを拡充する形での企画の提案することは可能と考える。

嘉手納ハーリー大会について

問 今年の嘉手納ハーリー大会については開催する計画があるのか。嘉手納ハーリー大会について、町民への広報はどうなっているのか伺う。

産業環境課長 6月3日、嘉手納ハーリー大会実行委員会総会が開催され、正式に中止が決定された。ハーリー大会の周知については、町のホームページや公式LINE、チラシ配布にて行っている。



安森 盛雄

詳しくは動画を Check →



新町通りの花ポット兼 車止めを問う

問 以前に一般質問で、新町通りの花ポット兼車止めについて質問したところ、商店街の意見を聞いてどういったものにするか検討するとありましたが、その後の進捗について伺う。

都市建設課長 現在の車止めを変更する際に、どのタイプがよいか調査するため新町通り商店街の北側に面する事業者に聞き取り調査を行った。南側の事業者についても聞き取り調査を行い、その結果をもって北区及び南区自治会に説明を行う予定である。

大きく分けて3つのタイプを提案している。取替えについては、安全性の確保が必要とされる交差点から順次、行っていく予定。

問 タイムスケジュールはどのようになっているか伺う。

都市建設課長 まずは、予算化された修繕費があるので、交差点から順次、早めに行っていく予定。予算面が足りない部分に関しては、次年度以降で対応、または補正等でも調整をしていく予定である。

問 予算は特定防などは使えないのか。

都市建設課長 通常の維持管理的な範囲内になるので、単費扱いになる。



新町通りの花ポット兼車止め

町内の防犯カメラを問う

問 県内でも最近では危険な部分が多くある。そこで、町内の防犯カメラの設置状況について伺う。

総務課長 49の施設等にカメラが

247台設置されている。

問 新町通りと港通りのカメラの設置年月日を伺う。

総務課長 新町通り、港通りについては設置8台となっており、平成30年3月の設置となっている。

問 去年、総務財政常任委員会での警察との情報交換会の中でも、防犯カメラは多く設置してほしいと要望があった。通り沿いに設置する場合は、近辺の人の了解を取らないといけない。未然に防ぐためにやはり必要ではないかと思うがどのように考えるか。

総務課長 防犯という意味からカメラの設置というのは未然に防ぐもの。防犯という文字通りの意味では、かなり有効なものだとは考えている。

問 以前、総務課長にも確認したが、スクールゾーンに防犯カメラを設置できないか。町民からも要望があった。総務課長は、担当課の方から要望があれば検討できるという答弁を頂いている。その後、教育委員会に確認したところ、学校等に設置場所のアンケートを取ってからとあったがその後どうなったか。



防犯カメラが設置されていないスクールゾーン

教育指導課主幹 令和6年8月29日、防犯カメラ及び立て看板の要望書が提出されている。要望書については、教育指導課、教育総務課、都市建設課及び総務課に供覧して、要望書を共有している。

問 私も、教育長宛の要望書を持っている。それで、この要望書をどのように対処するのか。

教育指導課主幹 その後、設置に向けての用意等はまだしていない。改善していきたいと考えている。

教育長 早急な対応を考えている。改めて、要望を教育委員会から担当課に繋げる。



奥間 常明

詳しくは動画を Check →



優良建築物整備事業について

問 字嘉手納285番地から289番地一帯における民間主導による再開発事業構想が計画されてから、企業・権利者間ではこれまで、数回説明会・ヒアリングが行われ、行政側にも理解と協力要請があった。さらに議会でも、同様の取り組みがなされ、一般質問等活発な議論が展開され「機は熟した」と思われる。

住宅に留まらず、商業施設も期待される。

議会と住民懇談会で異口同音に、書店・衣料品店の出店要請があった。それらについても期待出来る。

そして、大きな課題である駐車場問題も付随して公共立体駐車場建設を急ぐべきと考えるが見解を伺う。

都市建設課長 この区域に関しては、建物の密集、老朽度が高く、住環境上改善すべき場所となっていることや、近年は本町においても人口減少が著しいため、良好な生活環境の創出と安全な市街地の形成を図り、地域の活性化及び人口の増加を目指すものとなっている。駐車場建設について、民間主導により北区再開発建設事業の中において158台分の駐車場が計画されている。公共立体駐車場に関しては、東駐車場への整備が可能か検討している。

では、建物の密集、老朽度が高く、住環境上改善すべき場所となっていることや、近年は本町においても人口減少が著しいため、良好な生活環境の創出と安全な市街地の形成を図り、地域の活性化及び人口の増加を目指すものとなっている。駐車場建設について、民間主導により北区再開発建設事業の中において158台分の駐車場が計画されている。公共立体駐車場に関しては、東駐車場への整備が可能か検討している。

「嘉手納町立図書館」の蔵書の充実を図れ

蔵書の充実を図れ

問 町民の方から、「蔵書をもっと幅広く、特に、大人用の新刊が他の図書館（例えば恩納村立図書館）と比べて少ない感じが否めない。」という声が寄せられており、また、書店がないことから、特に、高齢の読書家の方々からは、「読みたい本があるが、車を出して買いに行くのはかなりの負担になる。交通弱者にとっては大変寂しいことだ！」等多々耳にする。アン

ケート調査を行いニーズに即した蔵書の充実を図れないか。

中央公民館長 例年、大人用の一般図書を購入を年間1000冊程度、児童書、雑誌も約1000冊ずつ購入している。現在8万8千冊余りあり、許容量に近い状況にある。また、町民限定で、所蔵していない本については、年間一人3冊までのリクエストや、他市町村借用に關しては借用も行っており、ご活用いただきたい。

道路行政について

問 ①水釜大木線と町道48号線の交差点（西区・水釜155-1付近）の路面改修工事と交通渋滞緩和策と一部角地があり、左折車両が曲がりきれず、さらに交通渋滞に拍車をかけている。

②同交差点付近歩道が時折駐車車両により歩道が占有されている。歩行者の安全確保のためにも好ましくない。安全対策を徹底してほしい。

③同交差点付近の街路樹が伸びすぎ、低身長の子どもがドライバーからは死角になり、いつ交通事故に巻き込まれないか常に

心配でならない。美化と並行して安全対策を。

④町道48号線（西区・水釜474-4付近）の沖縄電力の電柱設置面がくぼんでいるために、飼い犬の排尿場所として恒常化され、常に尿が溜まり環境衛生上よくないうえ、歩道でもあり通行人に不快感を与え続けている。

早急な対策を講じてほしい。

都市建設課長 ①渋滞緩和に向け、線形変更・信号機の位置等及び同交差点の改修も含めた道路改良を検討していきたい。

②嘉手納警察署と相談し、公安委員会からの助言では、類似箇所との整合性で規制は勧められないとあったので、他に対策がないか引き続き検討したい。

③剪定作業を増やしてはいるが追いつかない状況である。

④業者と相談し改善する。



自走式公共立体駐車場
予定候補地



田崎 博美

詳しくは動画を Check →



公共施設内における 草木の除去作業について

問 良好な住環境の形成については、周辺美化や景観を保つことは快適な生活空間を創造し、人々が安心して暮らせる環境を整備することが大切と思われる。業務委託先について伺う。

総務課長 所管する公共施設において、除草、剪定、伐採等における業務委託先は、令和4年度25施設中かでな振興17施設、前川グリーン土木7施設、松幸1施設、令和5年度21施設中かでな振興15施設、前川グリーン土木5施設、松幸1施設、となっている。

問 町道や町有地の空き地等の周辺の雑草等の除去作業の成果と実績について伺う。

総務課長 年間の除草回数は、令和4年度年1回実施の施設が8

施設、年2回が3施設、年3回が2施設、年4回及び5回が3施設、年6回が1施設、年12回が2施設、年15回が1施設。町道は22路線で53回、公園は12か所で72回実施。

令和5年度は、年1回実施の施設が8施設、年2回が3施設、年3回が2施設、年4回及び5回が2施設、年6回が1施設、年12回が2施設、年15回が1施設。町道は29路線で65回、公園は12か所で72回実施。

搬出量の報告を義務付けてないため、搬出量については把握していない。

問 雑草が大きく成長する前にこまめに草刈りを行うことで、雑草の生育を抑えることができる。令和4年度及び令和5年度の年間委託料について伺う。

総務課長 令和4年度は25施設合計で394万8千323円、令和5年度は21施設合計で421万9千779円。

問 エイジレス社会は、年齢に関係なく誰もが自分の能力や意欲に応じて、社会で活躍できる社会。高齢化が進む中で高齢者も積極的に社会参加することが期待されているが、町内のシル

バー人材を活用できないか伺う。

総務課長 現在本町では、シルバー人材の派遣等にかかる事業者が組織されていないため、できないものと認識している。

防音工事の対象を事務所や 店舗にも拡大の要望を

問 町域の事務所等の活動実績の確認件数は把握しているか。

産業環境課長 実態調査はしていない。

問 防音工事の対象を事務所や店舗にも拡大させるよう国に要望しているか。

基地渉外課長 住居の生活環境向上や労働環境の改善のため、防音対策事業の対象となる施設の拡大が必要であると考ええる。

問 防音工事に伴って、エコガラスの採用について国と協議する考えはないか。令和7年4月からは全ての新築住宅、非住宅に省エネ基準適用の義務付けが国土交通省から通達されている。

産業環境課長 防音工事でエコガラスを採用できるか沖縄防衛局に確認したところ、ガラスについては認定基準がないため、補

助事業者からの要望で対応可能とのこと。ただし、普通ガラスからエコガラスに変えた場合、性能や価格も上がるため、差額分については自己負担となる。

子育て支援について

問 手ぶら登園システムの導入について伺う。

子ども家庭課長 利用料が個人負担ということであれば導入は各園の判断となる。公立のさんさん保育所においては、保護者より要望があれば導入を検討していきたい。

問 本町での使用済みのおむつの持ち帰りについて伺う。

子ども家庭課長 紙おむつについては使用済みを持ち帰らせている園はないが、布おむつは園の方で軽く洗ったものを家庭に持ち帰って頂いていると伺っている。





高原 妙子

詳しくは動画を Check →



学校教育について問う

問 昨年6月の一般質問に続き不登校問題とフリースクールについて問う。全国の小・中学生の不登校が増えており、昨年10月末の文部科学省の調査では、この5年間で倍増し34万6482人という過去最多を更新した。そこで嘉手納町の小・中学校、過去3年間の不登校人数と学校現場の取り組みと課題を伺う。

教育指導課主幹 令和4年度は小学校28名、中学校11名。令和5年度は小学校18名、中学校24名。令和6年度は小学校51名、中学校23名。取り組みとして①不登校にならない未然防止として魅力ある学校づくり。②不登校の予兆を見逃さない初期対応として、学級担任による電話連絡や家庭訪問を行い、スクールソーシャルワーカー（以下SS

W）と連携し保護者と連絡をとるようにしている。③不登校児童生徒への自立支援として、社会的自立や学校復帰のための居場所となる校内自立支援教室や青少年センターの教育支援教室の設置、ふれあい等の取り組み。課題はSOSを出さない家庭への支援方法、担任の先生やSSWとの時間がとれない家庭、訪問しても会えない電話等の連絡がとれない家庭が挙げられる。令和6年度は、いじめが原因で不登校になった児童生徒はいない。

問 町は、フリースクールへ通う児童生徒の給食費、教材費の補助を検討するとあったが、一番負担のかかる毎月のフリースクールの学費の補助を他市町村の動向を見るのではなく、率先して取り組むことを要望する。フリースクールに通うことを選んだ児童、保護者の意見、理由を伺う。

教育指導課主幹 ①国際教育や英語教育を受けることを希望し、様々な国々の児童生徒と交流して多様性を高めるためや、日本の学校になじめない、という意見がある。②公立学校では行っ

ていない様々な体験やいろいろな能力を持った大人との交流、講習が受けられる。③公立小・中学校には通いたくないなどの意見がある。

若年シングルマザーの自立支援を問う

問 ひとり親家庭は子育てと家計をひとりで担うが、特に母子家庭では、安定した収入が少ないなどの課題を抱えている。国や県、町では、様々な施策や支援等があるが、若年シングルマザーについて町内の現状と支援を伺う。

子ども家庭課長 若年シングルマザーとは、一般的に10代から20代までの若い年齢層で、未婚での出産、離婚、死別等でひとり親として子育てを行っている女性を指す。現在ひとり親で、25歳以下の女性は8名で、支援として児童扶養手当の支給や医療費助成が行われている。

問 若年シングルマザーの運転免許取得について、県や支援団体の把握はしているか。社団法人「おきなわ子ども未来ネットワーク」と連絡を取り合って調

査研究を進めていただきたい。
子ども家庭課長 県内の民間団体により、若年シングルマザーを対象とした運転免許取得費用を全額支援する事業が実施されている。

高齢者支援について

問 現時点での町内における認知症の方の人数と、昨年施行された「認知症基本法」を踏まえて町としての取り組みを伺う。

福祉課長 県の報告では、令和6年3月末現在、65歳以上の方が461名、40歳から64歳までの方が9名。取り組みとしては、認知症を題材とした映画の上映、バリアフリー化の推進、認知症カフェの開催や相談体制の整備等として認知症地域支援推進員を配置。さらに、認知症の予防として認知症の人やその家族に、早期に関わる認知症初期集中支援チームを配置し、早期診断、早期対応に向けた支援体制を構築する取り組みがある。





照屋 唯和男

詳しくは動画を Check →



独居老人及び生活困窮者の
住宅事情支援を

問 独居老人及びリフォーム等の資金に困る方々の住宅の環境状況等は把握されているか。相談窓口は。

福祉課長 地域包括支援センターの総合相談で、状況把握している。リフォーム等資金に困る方々は、県社会福祉協議会が実施している低所得者世帯等を対象とした福祉資金という貸付制度を情報提供。申請窓口は嘉手納町社会福祉協議会。

問 沖縄県居住支援協議会とはどのような組織で、町との連携は。

福祉課長 高齢者等の住宅確保要配慮者の方の、民間賃貸住宅への円滑な入居促進に関し、居住確保要配慮者の方及び賃貸人、大家の双方に対して住宅情報の

提供等、必要な措置について協議するための組織。

現在本町では、特に連携はしていないが、今後の本町における居住支援について、関係課との調整の上で検討する。

防災備蓄食品
フードロスへの対応は

問 今現在、備蓄食料の期限はどのような状況か。

総務課長 期限切れとなる数は、令和7年度1800食、令和8年度900食、令和9年度ゼロとなっている。

問 食品ロス削減推進法との関連からロスを削減する計画を立て、倉庫内のチェック等は行われているのか。

総務課長 管理できるよう計画的に購入、入替を行っている。食料の賞味期限を把握して管理を行っており、今後も計画に沿って購入及び入替を実施する。

町の特産品開発事業

問 パインアップルの特産品化を目指す、農家に対し栽培技術の指導を行うとしているが、対

象農家は、登録されている農家だけへの苗の配布か。

産業環境課長 配布先は、パインアップル生産の中心となる予定の、指導を受けている農家とする計画。苗の供給量が増加した際には、希望する農家へ配布する。

問 平山近くでパインアップルを栽培している方が何人かいるが、その方々が主体になるのか。

産業環境課長 現在、指導を受けている方が約7名程度で、意欲があることが大前提となる。

問 パインアップルの栽培箇所としてはどこを想定しているか。

産業環境課長 各農家が管理している畑での栽培を想定。土の入れ替えとなると厳しい状況があるので、当面は鉢植えで対応していく。

嘉手納町北区における
優良建築物等整備事業への
町の支援進捗状況は

問 町、担当課は事業計画の目標、課題をどう見ているか。

都市建設課長 地域の活性化及び人口の増加を目指すもの。

問 町が申請する事業計画への概算要望の提出の準備は進められているか。

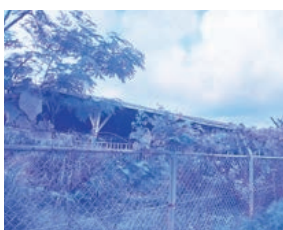
都市建設課長 6月10日が沖縄県への提出期限となっていたので、当日付で提出済み。

畜産団地の敷地計画状況は

問 新たな計画から、畜産農家の敷地の移動を言われていたが、畜産団地の方々とはしっかり協議していたのか。現状として今どうなっているのか。その土地の利用方法は。

産業環境課長 環境美化センターの移設先候補地の決定を、畜産団地というところで最終的に決定している。

問 畜産農家の方々は、実際その内容について納得しているというところで理解しているか。
産業環境課長 大きく反対する方はいない。



放置状態の畜産団地

熱中症対策を問う



古謝 友義

詳しくは動画を Check →



問 職場における熱中症対策が義務化された。嘉手納町も事業者に該当するか。

総務課長 本町も事業者には該当する。

問 町民が熱中症にならないための対策は考えているか。

町民保険課長 熱中症関連ポスターの掲示、ホームページや広報誌等で周知している。

問 エアコンの補助として生活支援策は考えているか。

福祉課長 生活支援策はない。

問 嘉手納野球場にミストシャワーが設置されているが目的は何か。

社会教育課長 利用者の熱中症対策。

問 自治会から、熱中症対策のためのミストシャワーの設置要望はないか。

総務課長 現在まで関連の要望は受けていない。

問 嘉手納公園は日陰が極端に少ない。熱中症対策のため早急に解決を望むが見解を問う。

都市建設課長 滑り台付近に3か所、スイング遊具の上部にパーゴラタイプの屋根を予定。



日陰が極端に少ない嘉手納公園

町内に、BBQができる施設を建設できないか

問 BBQ施設を造る計画はあるか。

都市建設課長 BBQ施設を造る計画はない。

問 BBQができる建物を造れないか。

都市建設課長 建物を造る計画はない。

問 場所は駐車場の完備している兼久海浜公園内が最適だと思いが見解を問う。

都市建設課長 すでに公園計画が定まり、順次整備していく予定である。

問 50組以上が利用できる施設を検討できないか。

都市建設課長 町民の要望が高まれば今後検討していく。



バーベキュー施設

特産品開発事業を問う

問 農業従事者全体が対象になるのか。

産業環境課長 パインアップル生

産に意欲のある農家に絞って技術指導をスタートしている。

問 種苗は町で補助するのか。

産業環境課長 令和8年度に収穫された後の母茎を購入し、そこから出てくる新芽を育成した際に、一度に限り種苗を配布する。

問 何年で出荷可能か。

産業環境課長 4年2収を3年2収にする仕組みを実施している。

問 現在主流のゴールドバレルと比較して優位性はあるか。

産業環境課長 新しい品種であり、糖度が高く台風強い特徴がある。

問 ふるさと納税返礼品の主流になれるか。

産業環境課長 国内産のパインアップルの99%が沖縄県産であり、嘉手納町産としてのブランド化に取り組む必要がある。



パインアップル



志喜屋 孝也

詳しくは動画を Check →



さくらねこプロジェクト

問 基本的な内容は。

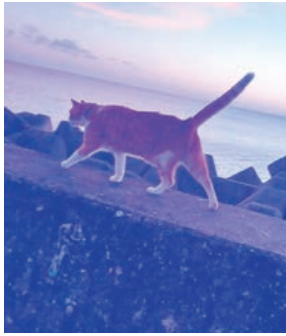
産業環境課長 さくらねこ無料不妊手術事業、動物愛護団体や猫への餌やり活動家の協力の下、野良猫の避妊、去勢手術を実施。

問 エサ代金の補助は。

産業環境課長 野良猫のエサ代金の補助は無い。

問 オス猫・メス猫の去勢・避妊手術の金額等について。

産業環境課長 オス猫約1万円、メス猫約1万4千円。



護岸を歩くさくらねこ

問 ねこワクチンについて町の考

え方は。

産業環境課長 不妊手術だけではなく、ワクチンやノミ駆除薬が無料でできる。

ロータリー広場・海浜公園の街灯・防犯灯切れについて
両公園の街灯・防犯灯切れを確認して1か月以上になるがどのように対応しているのか

問 街灯・防犯灯切れの連絡が入ったらどのような流れで対応しているか。

都市建設課長 ただちに職員が現場確認を行い、ブレイカーが落ちていないか確認。ブレイカーが上がらないなど、修繕が必要な際に修繕依頼を行っている。

問 なぜそれだけの時間がかかるのか。

都市建設課長 長期間放置しているわけではなく、電球の取り換えやブレイカーの修繕を適宜行っている。

問 電球切れか器具自体の問題か。

都市建設課長 電球切れや器具自体の問題と、どちらの原因もあるが、今回の場合は、どちらも電線が埋設されていることから、電線の問題も想定される。

ら、電線の問題も想定される。

問 土・日・祝日のロータリー・ラザ内子育て支援センターの壁灯が消灯しているとの話があるが通常通りに点灯できないか。
中央公民館長 日曜日だけ点灯していない。調整中。

ロボットスーツHALを用いた転倒予防トレーニング開発と有効性に関する研究

問 HALを用いた特定臨床研究・ロボットと暮らす明るい未来サイボーグ型HALについて担当課の認識は。

福祉課長 装着型サイボーグHALは、身体機能を改善、補助、拡張、再生することができ、世界初の装着型サイボーグ。人が身体を動かそうとすると、その運動意志に従って、脳から神経を通じて筋肉に信号が伝わり、その際微弱な「生体電位信号」が体表に漏れだし、皮膚に貼ったセンサーで検出し、意思に従った動作を実現する。HALは、医療用や介護等に応用され、疾患等により障害された歩行機能を改善するための医療機器としても認可されている。

問 将来の町の取り組みと補助の可能性は。

福祉課長 医療機関でのリハビリ保険適用となっており、今後調査研究する。

本町のこども食堂について

問 こども食堂はどのようなシステムで運営・営業しているのか。

子ども家庭課長 こども食堂は、地域の子どもたちに食事を提供し、食育や交流の場を目的とした取り組みであり、地域のボランティアが中心となる。食材の調達には地域の方や企業からの寄付、県の子ども居場所ネットワークの食材提供も活用。通常は食堂として運営し、食堂の利用客が子育て応援チケットを購入し、そのチケットを利用して食事を行うことができる仕組み。

問 こども食堂の件数と場所は。

子ども家庭課長 3か所あり、1か所は一時休止中。

問 貧困家庭の子どもの状況と世帯数は。

子ども家庭課長 県の貧困対策による沖縄子ども調査による困窮者の割合は21・8％。



当山 均

詳しくは動画を Check →



旧海軍駐機場等の返還に向け

町の活性化を図るうえで広大な米軍基地の存在は大きな弊害となっていることから、「旧海軍駐機場」及び「県道74号と旧海軍駐機場に挟まれた黙認耕作地」の返還を提案する。

基地の一部を返還させ、例えば①観光及び商業施設整備、②都市モノレールの北進を見据えパークアンドライド駐車場の機能も有する大規模な有料駐車場整備、③町内に点在する墓地を集約し公園墓地の建設等に取り組むことによって、町域に広大な空間を創出することができ

るのではないかと。生じた空間を観光・商業産業の新たな拠点として、住民・町内企業と行政が一体となって取り組むことにより閉塞感・圧迫感を打ち破る起爆剤になること

を願い、次の質問を行う。

問 旧海軍駐機場の概要及び使用に関する合意内容等を問う。

①「旧海軍駐機場」の具体的な区域とは。

②同駐機場の面積は。

③同駐機場における国有地・民有地別の面積、民有地の地権者数・筆数・軍用地料総額は。

基地渉外課長 沖縄防衛局からは「旧海軍駐機場の具体的な区域については定義されたものはないため、お示しできない」との回答あり。

「旧海軍駐機場の具体的な区域については定義されたものはないため、お示しできない」との回答あり。



令和4年発行「嘉手納町と基地」から転載

住民居住地に近接する「旧海軍駐機場」

これまでの経緯を踏まえ、町

において旧海軍駐機場と類推する区域を示したうえで同区域について尋ねた。

あくまで概数となるが面積約15・7ヘクタール。うち、国有地0・6ヘクタール、民有地約15・1ヘクタール。民有地の地権者数は約200名、筆数が約300筆、軍用地料の年総額約4億円との回答があった。

問 使用に関する合意内容とは。

基地渉外課長 沖縄防衛局からは「旧海軍駐機場に関する日米合意の公表については、日米間で合意に至っておらず現時点で公表していない」との回答あり。

町は、実際どういった細かい話が行われたかは把握できていないが、そもそも旧海軍駐機場の騒音等の緩和、騒音対策、騒音インシシアティブにかなう措置として移転していることから、音を出すような運用はダメだろうと考え、駐機場の使用中止を要請している。

問 町基地跡地利用計画を洗い出し・焼き直して、令和版「町基地跡地利用計画」の策定を。

企画財政課長 令和版「町基地跡地利用計画」策定を検討することは難しい。

現在、嘉手納基地は返還のめどが全く立っていないこともあり、返還や共同使用の実現を難しくしている。このような状況下では難しい。

問 観光及び商業施設整備等の提案については是非検討を。

質問冒頭で提案した①観光及び商業施設整備、②パークアンドライド駐車場の機能も有する大規模な有料駐車場整備、③町内に点在する墓地を集約し公園墓地の建設等の提案については是非検討して頂きたい。

企画財政課長 提案内容は参考にさせて頂きたい。

これまでも、用地の確保を行うため基地の共同使用、国有財産の無償使用等を検討しながら進めている。提案内容は参考にさせて頂きたい。

問 嘉手納基地以南の基地返還計画の対象施設に「旧海軍駐機場等」を盛り込ませるための取り組みの検討を。

企画財政課長 特例として盛り込ませることは難しい。

嘉手納基地以南の基地返還計画を対象に当該施設・区域を特例として盛り込ませるための取り組みは難しいと考える。

次のページも

町に考えを聞く!! 一般質問

仲村渠兼栄・宇榮原京一

議員定数削減を問う



仲村 兼栄

詳しくは動画を Check →



議会の様子

質問④について、議員定数削減のメリットは、一般論として、経費削減・議員数の減少により議論が円滑に進み、議会運営が効果的になる可能性がある。デメリットは住民の多様な意見やニーズを十分に反映できるのか不安が残る。議会の監視機能、政策立案機能が弱まる可能性がある。

国民保護「避難手順」は

令和7年3月定例会当初予算に国民保護計画改定業務委託料が予算計上された。本町の地理的状况と世界情勢を踏まえてしっかりと議論を重ね、危機管理体制と町議会議員としてしっかりと議論すべき案件だと思う。そこで3点伺う。

問①8分類型を想定した避難経路の場所と経路手順は。

②嘉手納基地との連携は。

③国民保護計画策定業務のスケジュールは。

総務課長 ①改定から15年以上が経過し、その内容が現在の状況に合致しない部分があり、避難計画のパートナー検討を行い、本町の状況を踏まえ検討していく

予定。
②嘉手納基地との連携は現在のところ想定していない。
③現在、業者選定を進めており、選定後に策定に入る。作業に当たり検討委員会及び防災会議での検討、パブリックコメントを実施の予定。



商品券多くの区民で賑わうなかゆくい朝市（中央区）

野國總管商品券を問う

問 県内において、地域商品券を発行できる市町村が減少している中、本町は野國總管商品券を発行し完売した。物価高騰対策の目玉の事業である。そこで2点伺う。

①5千円商品券の予定は。

②中央区なかゆくい朝市での利用ができないか。

産業環境課長 ①検討する。
②商工会と協議したい。

問 1月の町議会議員選挙の公約に、町議会議員定数削減を掲げた。今回は執行部（行政側）からの議員定数削減のメリット・デメリットの確認等を行う。議員削減については、議員発議で行うべき案件で他の議員の理解と協力を求めている。また、県内の町村議会における動向や必要性等、調査研究の結果と三常任委員会設置の方向性を、9月の一般質問で行う予定。そこで今回は4点伺う。
①過去5回の町議会選挙の定数と立候補者数は。
②過去5回の町議会選挙の有権者数と投票率は。
③中部地区町村の議員報酬の把握は。
④議員定数削減におけるメリット・デメリットは。

副町長 質問①②について。
平成21年。定数16人、立候補者数17人、有権者数10289人、投票率73・99%。
平成25年。定数16人、立候補者数17人、有権者数10455人、投票率70・02%。
平成29年。定数16人、立候補者数19人、有権者数10717人、投票率70・99%。
令和3年。定数16人、立候補者数18人、有権者数10586人、投票率64・86%。
令和7年。定数16人、立候補者数17人、有権者数10078人、投票率58・11%。
質問③について、議長・副議長の報酬は6町村中第4位。委員長・議員の報酬は6町村中第2位。



宇榮原 京一

詳しくは動画を Check →



嘉手納野球場周辺
施設整備計画について

問 野球場周辺でサブグラウンド、トレーニング室の整備、駐車場の拡充を配置する計画となっているが、同計画の経緯と今後のスジュールについて伺う。

企画財政課長 横浜 DeNA ベ이스ターズとの意見交換で出た、キャンプをする場合サブグラウンドと周辺施設の要望を受け、令和7年度基本設計、8年度実施設計、9年度整備工事を計画している。

問 現在計画中の施設の内容、駐車場の必要台数の根拠は。

企画財政課長 48×46Mのサブグラウンド、室内投球練習場、トレーニング室、これまでの野球場駐車場台数166台の確保。

問 それぞれの概算事業費は。

企画財政課長 個々の概算費はサブグラウンド9300万円。駐車場整備5200万円。室内投球場1億6000万円、トレーニング室2億8000万円。

問 補助金の活用は。

企画財政課長 沖縄振興特別事業推進費で補助率は80%。

問 プロスポーツ合宿の受入は町民の家と融合を図るべきかと考えるが、宿泊施設等の整備は。

企画財政課長 町民の家での合宿の受入は検討していない。宿泊施設の誘致は可能性を検討。

問 交差点付近の駐車場は車の増加で混雑の発生と安全対策は。

企画財政課長 基本設計の中で安全性などを踏まえた上で適切な出入口の位置や構造等について検討する。



現駐車場にサブグラウンド、向かいの急傾斜地に駐車場を整備



スポーツドーム横にトレーニング室を整備

比謝川緑地
周辺園路整備について

問 嘉手納小学校から嘉手納公園、比謝川遊歩道までの園路の整備が計画されているが、経緯とスケジュールは。

都市建設課長 比謝川大橋周辺の比謝川緑地広場と嘉手納公園が連携することで、嘉手納小学校へのアクセスへの向上が図られ、総合学習等にて活用できる。また、修正設計を実施し工事へと進めて行く。

問 学校及び保護者並びに地域住民との協議は。

都市建設課長 行っていない。

問 用地取得はあるか。

都市建設課長 一部狭い部分があるが、修正設計で再確認する。

問 事業費と補助金の活用は。

都市建設課長 特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用する。

問 維持費管理や防犯上の対策は。

都市建設課長 歩行に支障を来さないように除草など維持管理に努め、防犯は、ソーラー式照明などのようなもので整備する。

就職・雇用促進
支援事業等について

問 雇用促進資格取得支援事業の内容と現在の利用状況は。

産業環境課長 就職に有利な資格の取得。補助対象の8割、または10万円のいずれか低い額。令和4年度11件、5年度が10件、6年度が5件。

問 就職支援活動総合窓口事業の内容と現在の利用状況は。

産業環境課長 週に2回、役場エントランスホールにて経験豊富な就職相談員を配置し、求職者に対し就職相談等を行う。相談件数は、令和4年度391名、5年度433名、6年度94名。

問 周知方法及び事業の効果は。

産業環境課長 ホームページやLINE、パンフレット等。就職率向上に一定の効果があるが、現在の利用状況が伸び悩んでいることから、今後の社会情勢を注視しながら事業の縮小、配置、新たな施策の展開などを検討する。

問 名護市若年者継続雇用奨励金制度を提案するが。

産業環境課長 当町でも、同様の制度が実施できるのか、もしくは別の取組で雇用の創出を図るべきなのか、調査研究を行いたい。

タブレット導入に向けた研修会



7月24日、議会活性化特別委員会、既にタブレットを導入している読谷村議会を訪れ「タブレットを活用した議会運営状況」について研修会を行った。読谷村議会は、令和2年度に導入し、ペーパーレス化はもろろのこと、議会事務局職員の仕事の労力が激減したことを高く評価していた。

主な議長公務日程

5月 19日 中部議長会県外視察研修会
26日 全国町村議長会県外研修会
6月 3日 救命講習（AED）研修
23日 沖縄全戦没者追悼式
7月 1日 地元産品優先使用要請団受入れ
8日 県産品優先使用要請団受入れ
9日 町英語コンテスト
10日 夏の交通安全県民運動出発式
24日 武蔵村山市行政視察受入れ
26日 町しまくとうば語やびら大会

その他21件

議会

情報をチェック

議会ネット中継
配信開始！



嘉手納町議会ホームページでは、定例会・臨時会の会期日程や一般質問通告書、意見書・決議等を掲載し、情報を発信しています。また、インターネット中継を行っています。ホームページやスマートフォンからでもご覧いただけます。

救命講習（AED）研修

6月3日、ニライ消防本部にて嘉手納町議会基本条例に基づく自主研修の一環として、救命講習（AED）研修及び施設視察を行った。心肺蘇生法やAEDについて学び、同庁舎に併設された沖縄県消防指令センターで説明を受けた。



今回の研修で習得した知識と技術を活かし、万が一の場合に素早く適切に自信をもった行動をとれることが、嘉手納町の安全性の向上につながる。

題字紹介

議会だより



嘉手納中学校2年
りゅうき
仲宗根 琉輝さん

今回「議会だより」を書いて、見た目の想像以上にむずかしくて苦戦したけど、集中力でどうにか書けたので達成感を感じられました。

職人・人物紹介

山香（やまこう）

左から 三谷千春さん、大西和也さん、濱元隆さん、山内昌憲さん、山内大地さん



「たけの子の水煮」は大変好評な商品の一つです。

商品開発から小袋製品の製造まで、お客さんの要望に応えるため、数か月かかることもあります。喜んでもらうために日々取り組んでいます。

山香 〇九八・九五六・九三三八

創業41年、業界老舗の食品受託製造工場です。油みそ各種、ジーマーミ豆腐のタレ等、各店舗のオーダーレシビで製造しており、現在30通りほど作っています。ステーキソースやウニソース等、皆さんが山香品だと知らずに口にしている商品や、ブエノチキンのB1ソースも作っています。9年ほど前から製造している嘉手納町産

